

2014（平成26）年度

事業報告書

社会福祉法人 慈愛園

ひかり幼稚園

2014（平成26）年度 事業報告書

1. 施設名 ひかり幼児園
2. 種別 保育所
3. 定員 90人
4. 園長名 新美美穂
5. 職員 25人（常勤14人 非常勤9人 パート2人）
（園長 保育士 栄養士 調理師 看護師 事務 保育補助）
6. 園児在籍数 入園29人 退園11人（転居3、転園6、家庭復帰2）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	9	10	12	12	12	12	13	14	14	14	15	15
1歳児	18	19	19	19	19	18	18	18	18	18	18	18
2歳児	18	16	16	16	16	16	16	16	16	16	17	17
3歳児	17	17	16	16	16	16	16	17	17	17	17	17
4歳児	14	14	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
5歳児	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21
合計	97	97	99	99	99	98	99	101	101	101	103	103

7. 事業内容

キリスト教精神に基づく理念“謙遜・献身・愛”にたち、すべての子と子育て家庭を支援する〈生活と教育の場〉として地域にある保育園としての役割を果たしてきた。保育所保育指針や子どもの育ちに裏付けられた保育実践：『ていねいな保育』で、子ども及び保護者や地域に信頼される場となるよう努力してきた。

① 保育の必要な乳幼児の保育

子ども・子育て支援新制度への移行を前に、ひかり幼児園は現行の保育所のままでいくことを決断した。教育・保育の質を高め、より信頼される園の運営を優先するという認識を、まず職員が自覚し実践し、保護者にも「ひかり幼児園の教育・保育」をわかりやすく伝えることを心がけた。校区担当保健師や熊本市児童相談所、学校等との連携を密にしながら、園児家庭にも心をくばった。

② 一時預かり事業

一時預かり事業（熊本市委託事業）実績：利用延べ人数760人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	6	13	9	3	2	3	4	6	4	16	7	12
1歳児	13	13	16	17	10	17	19	19	19	22	35	28
2歳児	21	30	34	36	27	31	35	33	30	24	16	21
3歳児	7	8	8	9	6	16	10	0	0	0	0	0
4歳児	0	10	0	0	0	0	0	0	0	13	12	10
5歳児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	47	74	67	65	45	67	68	53	53	75	70	71

一時預かりは、利用者の紹介（口コミ）が増え、地域からも信頼を得てここを選んでくださっているという手ごたえを感じた一年であった。就労のための定期的な利用の他、家族の病気・入院など緊急の利用もあったが、親子が安心して過ごせる（預けられる）場所として、これからも努力したい。

③ 保育内容の充実（今年度の特記事項）

礼拝のおはなしについて牧師から学び、決められたテーマで実践をしてみた。聖書にきき祈ることを通して霊的成長を祈るものである。

職員ができるだけ職員会に参加し、そこでの過程を知ることによって、ひかり幼稚園としての考え方、年齢や個々に応じた対応があることを参加した職員が実感することができた。

④ 健康・衛生管理

手洗い・うがいや予防接種を重点的に啓発した。（ポスター掲示や声掛け）

室内や園庭の清潔（掃除の徹底）、砂場消毒の管理を行った。

PM2.5や光化学スモッグなどの注意報発令に注意し、測定値が高い時には、外遊びを控えるなどの対応を行った。

食物アレルギー、低血糖の疑いを持つ子どもの情報は全職員が理解し、細心の注意を払った。

主な感染症	インフルエンザ A 型 9 人 インフルエンザ B 型 1 人 水痘 2 人 RS ウイルス感染症 12 人 手足口病 5 人 感染性胃腸炎 6 人
内科健診	4・10・2 月（欠席者は後日受診）全員異常なし 家庭へ通知
歯科健診	6・2 月 結果を家庭へ通知 4・5 歳児：食後の歯磨きとフッ素洗口
蟻虫検査	6 月 有卵者なし
身体測定	毎月末に結果をこひつじノートや連絡帳に記入
その他	職員：年 1 回健康診断 定期的に腸内細菌検査 調理関係者：毎月腸内細菌検査 ノロウイルス検査

⑤ 安全管理

毎月の避難訓練は、想定を整理し、火事の時、地震の時の行動の違いが身につくような訓練順を工夫した。

県営山の上団地跡地に雑草が生い茂った時期には、県に状況を説明し、不法投棄その他の事故を未然に防ぐための草刈り整備をしていただいた。

⑥ 給食及び食育

熊本市保育園連盟の取り組みとして、春日ぼうぶらと南瓜を加盟園が育て、コンテストを行ったが、ひかり幼稚園では、春日ぼうぶらが豊作で、成長を観察したり、重さを測ったりして楽しんだ。また、この春日ぼうぶらや畑の収穫物を用いて団子汁を作って、地域の方と一緒に食べた。

非常事態を想定したクッキング体験として、カレーとご飯を薪で調理し、広告紙で折った皿に入れて食べる体験もした。この調理法は水分量や材料を変えるとひとつの鍋でアレルギーや離乳食等の個別の対応が出来ることから、次回につなげる体験となった。

じゃがいもの栽培は、収穫の後、皮むきをし、ポテトサラダサンドイッチになるところまでを経験した。恒例の1歳児クラスのさつまいもほりも、貴重な体験である。

熊本市食品自主衛生管理評価（熊本市版 HACCP）にて、6段階の評価（前回よりワンランクアップ）をいただき、市役所ホームページにも公開された。

冷蔵庫と炊飯釜の買い替えを行った。

保護者の信じる宗教により、宗教を理由とした特定の食材や調味料が使えないため、細心の注意を払いながら給食提供を行った。

食育活動一覧

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
活動	さつまいも 植え	グリーンピース 剥き ゴーヤ植え ぼかし作り	セレクト給食 春日ぼうぶ ら種蒔き	じゃがいも収 穫→皮むき クッキング (黄粉団子)	春日ぼうぶ ら・グリーン カーテン観察 小松菜種蒔き	十五夜つみ だしいも
郷土料理	魚ロッケ (佐賀県)	いしがきもち (大分県)	がめ煮 (福岡県)	チキン南蛮 (宮崎県)	人参しりしり (沖縄県)	とじこ豆 (熊本県)
食育だよりのテーマ	保育所給食 とは	行事にちな んだ食事	咀嚼につい て	食物アレルギー について	離乳食につ いて	野菜を身近 に
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
活動	祖父母ふれ あいおやつ 春日ぼうぶ ら観察 1歳児いもほり	地域交流会 (収穫物の 団子汁) 玉ねぎ植え	冬至ゆず団子 クリスマスラン チバイキング	4・5歳児ク ッキング(災 害想定)		お別れパー ティー会食 リクエスト 給食
郷土料理	ちんぴん (沖縄県)	たぶ (佐賀県)	ちゃんぽん (長崎県)	つぼん汁 (熊本県)	ねったぼ (鹿児島県)	ごぼうといり この天ぷら (福岡県)
食育だよりのテーマ	おやつにつ いて	食事の中の姿 勢について	朝食につい て	人気メニュ ーレシピ	栄養につい て	子どもに必要な エネルギーは？

⑦ 家庭・地域・小学校との連携

A) 家庭との連携

園の行事のお知らせや、園だより等をわかりやすく記述し、提出日が守れるような働きかけをした。

B) 地域との連携

大江校区子育てネットワークの会で、地域の現状や課題を共有した。

地域高齢者と年間を通じた交流を行う。特に今年度は山の上団地住人を招き食事を共にしたが、ライフラインが途絶えた時を想定した炊き出し訓練を地域で取り組んでいくことを関係者に提案するなど、地域防災に向けた取り組みを前進させた。

東日本大震災当時の派遣牧師である立野泰博牧師や畠山卓也氏（震災当時石巻市立中学校長）との関わりを通して、震災や防災についての学びを深めた。また、夏まつりで仙台

風七夕飾りを作ったり、石巻の保育所にくまモン折り紙やお手玉を贈る（クリスマスプレゼント）など、「忘れない」交流をした。

C) 小学校との連携

校区内外の小学校・中学校の学校行事や交流会、連絡会に積極的に参加し、顔の見える関係をつくった。

また、園児の就学先には、保育所児童保育要録を送付する際、書面では伝えにくい内容を丁寧に説明し、連携の強化をはかった。

D) 実習生の受け入れ

4/28~5/1 6/30~7/3 10/20~10/23	6/9~6/12 9/1~9/4	九州中央リハビリテーション学院看護科3年（小児看護学臨地実習） 合計14人
9月17~19日		熊本市立白川中学校2年（ナイストライ）2人
10月20日~11月1日		尚綱大学短期大学部幼児教育学科2年（保育実習Ⅱ）2人
11月5~18日		熊本YMCA学院児童福祉教育科年2年（保育実習Ⅰ）1人
1月26~27日		神水幼稚園職員保育所実習 2人
2月23日~3月7日		熊本学園大学子ども家庭福祉学科3年(保育実習Ⅱ) 2人

⑧ 福祉サービス苦情解決

苦情解決体制

苦情解決責任者 新美美穂（ひかり幼稚園園長）

苦情解決受付担当者 大津美穂（ひかり幼稚園職員）

第三者委員 神水幼稚園元園長

大江小学校児童育成クラブ指導員

上半期は文書にて報告、12月と3月には第三者委員会を開催して、園の状況を説明したり、意見や苦情について報告し助言を求めた。今年度は主として次の苦情があった。

○職員の対応（食事指導について）

年長児の祖母より その日の給食のメニューが苦手なものなので、減らしてもらおうよう祖母が申し出た。担任が本児に「いつも減らしているでしょう。〇〇くんも自分で言ったら？」と言ったその言い方や表情に失望した。

<対応>偏食指導は根気のいることであるが、子どもの思いを汲み、肯定的な言い方の工夫、表情について全職員が自分をふりかえり、正していくことが大事と受け止めた。

○鳥の糞被害の苦情と樹木剪定依頼

隣家の管理人より 園庭のモチノキに止まりにくる鳥の糞で車が汚れるので、境界線から出た部分の剪定をお願いしたい。

<対応>当日、高枝ばさみで切れる範囲の枝を職員が切り落とし、後日剪定をしてもらう。同時に道路沿いの樹木も剪定をした。

第三者委員より、食事の指導だけでなく、その子どもの生活（保護者の思い等）や良さ（頑張っていることを認めたり、自信になるもの）を含めた指導という点で、保育者は、大変な

苦勞もあると察するが、子どもたちのために頑張るって欲しい。

また、園のたよりなどのお手紙を読まなかったり、提出期限が守れない保護者に対しての工夫として、「大事なお手紙が入っていますよ。」と声のかけ方を工夫したり、時には園長自ら手書きの手紙も新鮮で注目してくださるかも知れないですねと助言をいただいた。

⑨ 職員の研修について

職員は、以下の研修会に参加し、復命書を書いたり報告をして、共有化した。

月	対外研修	園内研修
4月	市連研修会 7日 慈愛園新任職員研修会 21日	事業計画その他の共有 5日
5月	法人理念研修（三園合同）10日 縣市合同女性部研修会 12日 キ保設置者・園長研修会 12～13日 園長研修会 21日 市連保育研究大会 24日	聖書会 13日
6月	市連看護師等研修会 3日 熊本市保育所職員合同食品衛生研修会 6日 市連中央ブロック主任保育士研修会 11日 キリスト教保育連盟九州部会保育者研修会 20～21日 熊本市保育所職員合同保健衛生研修会 23日 熊本市子どもの食育推進ネットワーク全体研修会 24日 市連給食部会全体研修会 26日 環境と保育についての情報交換の集い 28日 熊本市保育所職員合同障がい児保育研修会 30日	聖書会 10日
7月	市連中央ブロック給食部会研修会 17日 食農を考えるシンポジウム 18日 熊本市保育所職員合同主任保育士研修会 23日 キリスト教保育連盟第85回夏期講習会 28～30日 熊本市保育所職員合同乳児保育研修会 30日 全国保育士会食育推進研修会 31～1日 サマーナイトセミナー31日	聖書会 8日 ふりかえり（自己評価）及び園長との面談
8月	るうてる法人会連合第3回全体研修会 25～26日 市連特別研修会 27日 市政リレーシンポジウム 27日	プール監視体制についての学び 6日 礼拝のおはなしについての学び 『くるみの実のなるころ』勉強会（非常勤職員対象）21日
9月	市連看護師等研修会Ⅱ 5日 キリスト教保育連盟熊本地区研修会（管理職向け・職員向け）6日 市連中央ブロック給食部会研修会 11日 外国人雇用管理セミナー26日	聖書会 4日 礼拝のおはなしについての学び AED研修会 8日

10月	社会福祉法人労務研修会 2日 食の安全セミナー9日 市連中央ブロック給食部会研修会 23日 市連分離独立 15周年記念講演会 25日 熊本市保育所職員合同園長・主任研修会 29日 支援者研修会Ⅱ 30日	子ども子育て支援新制度 についての学び 4日 聖書会 14日
11月	地下水と土と安全な農産物を考えるキックオフシンポ 11日 熊本市保育園職員合同人権（虐待）保育研修会 12日 市連中央ブロック主任保育士研修会 13日 市連部会連携研修会 27日 熊本市保育所職員合同保育研修会 28日	聖書会 12日 礼拝のおはなしの学び
12月	キ保熊本地区クリスマス 6日 慈愛園施設長等研修会 26日	
1月	発達支援コーディネーター養成研修ステップアップⅡ 7日 部会連携研修会 10日 市連中央ブロック給食部会研修会 15日 キリスト教保育連盟九州部会主任研修 16～17日 市連女性部研修会 26日	聖書会 13日
2月	上田事務所研修会 5日 保育園職員のための防災研修会 9日 慈愛園モード・パウラス先生愛献の集い 14日 熊本市子どもの食育推進ネットワーク全体研修会 24日 市連女性部マナー研修会 25日 市連中央ブロック人事考課制度研修会 26日 市連セミナー 28日	聖書会 10日
3月	市連モデル就業規則研修会 14日 九州ブロック人材養成支援事業 16日	

⑩ 園長の責務・施設整備

今年度、園長は全国社会福祉協議会の福祉施設長専門講座を受講し（福祉施設士資格取得）、社会福祉法人の在り方や自園の設立理念を職員や保護者に表し、実践していく責任を強く自覚した。

新しい保育制度の概要が少しずつ明らかになるにつれ、「保育所」としての存在意義を深く考えることとなった。保育所が保護者のためのサービスとなりつつある中で、何が子どもに大切なのか、どう支えていくのか職員一人ひとりが学び実践していくことが質の向上につながると思う。家庭環境は様々で、金銭的な困難だけでなく、養育力や社会性の未熟さを保育所はどう補っていくのか、各関係機関と協働して取り組んできた。

また、今年度防災の取り組みを一歩進め、危機管理としての緊張感を持ちつつも、子どもが理解しながら楽しんで体験し、生きる力の基礎を育むことができるよう配慮した。

施設整備としては、8月ウッドデッキと木製遊具の補修、3月に一部の樹木剪定を行った。

⑪ 活動報告

月	日	行 事	内 容
4月	1	*建物点検日	*園内外を点検リストに従い点検報告を行う（毎月1日定例）
	2	新級・入園合同礼拝	進級入園を感謝し、クラスや職員の紹介をする
	5	入園式	新入園児18人と保護者を迎える
	16	*ロアッソサッカー教室	*さくら・ゆり組のサッカー教室（毎月第3水曜日定例）
	19	お見知り遠足 保護者会総会	熊本市動植物園にてお見知り遠足（現地集合・解散） 新旧の保護者会委員さんを紹介、総会を行う
	22	*避難訓練	*発火場所・時間を想定して訓練する（毎月第4火曜日定例）
	23	*誕生会	*みんなで誕生者を祝う（毎月定例）
	24	緊急避難訓練 内科健診	不審者発見伝達訓練（職員） 園医による内科健診
5月	19	フッ素洗口指導	保健子ども課の歯科衛生士による指導
	28	幼年消防クラブ結成式 避難訓練	中央消防署の指導による幼年消防クラブ結成式を行う 避難訓練の様子を見ていただき、職員は消火訓練をした
	30	プラネタリウム見学	ゆり組21人熊本博物館へ行く
6月	2	花の日礼拝と訪問	警察学校などへ花束にカードを添えて訪問する
	4	ぎょう虫検査	すみれ組以上児のぎょう虫検査
	6	歯科健診	園医による健診
	17	保育参観	各クラス保育参観
	19	保育参観 講演会	各クラス保育参観 講演：カメラ（写真撮影と調整のコツ）を楽しむ
7月	1	プール開き	事故のないようプールを囲んで礼拝する
	19	山の上団地生き粋サロン参加	ゆり組20人山の上団地住人とお手玉やあやとりをして交流
	19	夏まつり	『ひかりなつまつり2014』と題して、夕方から1時間半のプログラム。「おばけのおうち」や父親がゴールキーパーのボールゲーム、うちわ作りを楽しんだ。仙台七夕風の飾りも飾った。大学生のボランティア参加があり、共に楽しんだ
8月	7	もも組クラス懇談会	もも組保護者と担任が懇談する
	8	ふじ組クラス懇談会	ふじ組保護者と担任が懇談する
9月	1	プール納め	事故もなく過ごせたことを感謝し、礼拝する
	3	緊急避難訓練	不審者発見伝達訓練（職員）
	5	保育参観	各クラス保育参観
10月	4	運動会	園庭にてダンスや競技を楽しむ
	7	内科健診	園医による内科健診
	21・22	お泊り保育	ゆり組21人雑草の森にて野外活動と宿泊を行う
	28	いもほり遠足	貸し切りバスで広安愛児園へ行き、芋掘りを楽しむ（ゆり・さくら・ふじ・もも組65人）また、同日すみれ組は園の畑で芋掘りを行う
	31	祖父母ふれあいの日	園児祖父母を招き（40人）、交流の後、茶話会を行う
	31	げんきっずフェスティバル	ゆり組19人熊本学園大学げんきっずフェスティバルに参加し、コーナーやステージの出し物を楽しむ（午後）

11月	4	収穫感謝礼拝・幼児祝福礼拝	家庭より果物・野菜を持ち寄り、感謝の礼拝をする。また、牧師より祝福をしていただく
	5	収穫感謝訪問	果物や野菜にカードを添えて、近隣や警察学校等を訪問する
	7	収穫感謝地域交流会	畑の収穫物を用いて団子汁を作り、地域の方を招待する
	7	県産みかん贈呈	熊本県より県産みかんをいただく
	22・29	さくら組個人懇談	保護者と担任が子どもの育ちなどについて個人懇談した
12月	10	クリスマス公開リハーサル	クリスマスリハーサルを公開し、当日来れない家族及び地域の方を招いた（41人）
	13	クリスマス	クリスマスの礼拝と祝会を行う
	18	焼きいも	園児祖父母からいただいたわらで焼きいもをする
	19	山の上団地生き粋サロン	ゆり・さくら組 35人がクリスマスの歌を歌い、山の上団地住民と交流する
	25	誕生会とクリスマスランチ	誕生会にサンタさん来園。クリスマスランチとしてバイキング会食をする
1月	17・31	ゆり組個人懇談	保護者と子どもの育ちや小学校での生活について個人懇談する
	21	ロアッソサッカー教室公開	今回は保育参観としてサッカー教室の様子を公開した
	28	ゆり・さくら組クッキング（非常食調理）	カレーとご飯を別々の袋に1食分ずつ入れ、かまどで調理する。広告紙で作った皿に入れて食す
	29	阿蘇ミルク牧場の青空学習教室（ふれあい体験）	「命のぬくもりと食のつながり」をテーマに子牛の心音を聞いたり、ブラッシングをさせてもらうなどのふれあいをする
2月	9	創立記念礼拝	牧師と共に創立67周年の記念礼拝をまもる。創立から今日までの保育や園庭の様子を中心に写真を掲示した
	17	託麻原小学校交流会	ゆり組 19人が託麻原小学校を訪問する
	19	発表会公開リハーサル	発表会リハーサルを公開し、当日来れない家族が来園された
	21	発表会	子どもたちの歌や劇などの発表をみんなで楽しむ
	23	神水教会礼拝	ゆり組 20人は愛光幼児園年長児と共に、神水教会で礼拝をまもった後、交流を深める。また、パウラス記念館も訪問する
	25	緊急避難訓練	不審者発見伝達訓練（職員）
	26	内科健診再診	園医による内科健診（未受診者の健診）
27	歯科健診再診	園庭による歯科健診（未受診者の健診）	
3月	4	大江小学校交流会	ゆり組 21人が大江小学校を訪問する
	5	ゆり組遠足	ゆり組 21人が御船町恐竜博物館を見学する
	6	さくら・ふじ組遠足	さくら・ふじ組 32人堂免公園へ遠足に行く
	10	幼年消防クラブ修了式 避難訓練	ゆり組に中央消防署より幼年消防クラブ修了証書が手渡される。まとめとしての避難訓練の様子をみてもらう（職員の通報訓練）
	11	ふじ組サッカー教室体験	ふじ組がコーチの指導でボール遊びとサッカー体験をする
	12	お別れパーティー	ゆり組と退職者を囲んだ集会後、ふじ以上児バイキング形式で会食する
	18	ロアッソサッカー教室とコーチとの会食	今月はサッカーの後コーチへありがとうの意をこめて会食
	20	新入園児説明会	2015年4月入園児家庭へ重要事項説明と面接を行う。
	28	保育証書授与式（卒園式）	ゆり組 21人が卒園する